



渡島地方本部ニュース

【発行】
 自治労渡島地方本部
 執行委員長 川村 哲也
 〒041-0806
 函館市美原 4-6-16
 TEL 0138-34-2357
 FAX 0138-34-2358

2012春闘要求書を提出

春の闘いがはじまった

渡島地方本部は2月16日、渡島総合振興局と町村会へ、2012年度自治体労働者の賃金・労働条件に関する重点要求書と男女平等社会および職場における男女平等の実現に関する統一要求書を提出しました。2月29日に団体交渉を行います。



町村会事務局長は、「人勧がなくなり、何を基準にして給与を決めていくのか、首長たちは皆心配している」と話していました。今回の要請書の項目の中にある「賃金労働条件の協議システムの構築」について説明し、町村会にもご尽力頂くようさらに要請しました。

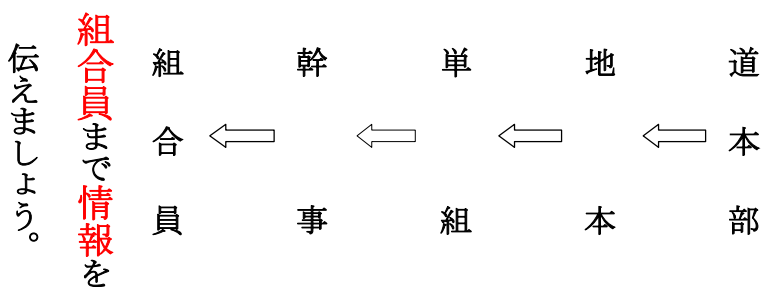
現業では合理化がすすんでいる

2月11日、北斗市かなでーるで、2012渡島地本現業公企評議会第1回幹事会を開催しました。冒頭、渡部評議会議長が、今年度、現業アクションプランは渡島地本として取組んでいくとあいさつしました。

がりました。運転手、学校用務員、給食センターの調理員、保育所の保育士さんが合理化の対象になっている。また、現場の組合員まで現業の情報が伝わらない。といった意見がありました。情報提供の手段(対策)として、幹事会で確認しました。

現業公企統一闘争中間総括(案)を報告した後、左記の3項目の協議事項
 ①2012年度幹事会体制、②制度政策要求の取り組み、③労働者集会の開催について協議し、道本部中野渡組織部長から、「地本幹事会の活性化で現場を守る」と題して道本部として提起しました。

また、現場からは、合理化が進んでおり、退職後は不補充や委託化されている。特に、学校の統廃合や保育園の民営化が各自治体ですんでいると、報告



道南医療第18回定期総会
団体交渉の『いろは』とは



ついでには道に対し申し入れしていきたい」また、平出道議も「医師不足の対応について、高橋知事へ要請するので、皆さんの声を出してほしい」と話しました。

講演しました。総会では予算案、運動方針案、幹事体制案がそれぞれ承認されました。また、協議事項では、衛生

講演では、函館地区連合山田組織部長が、「労働運動は19世紀初めにイギリスで労働運動が始まり、今の組合の形となった。労働者は憲法28条及び労働三権で守られている。組合員から見た組合はどうですか？風通しはいいですか？日頃から職場と日常のコミュニケーションが大切」と述べ、さらに、

医療若狭事務局長より「渡島・檜山の地域医療を守るためには医師や看護師の確保が最大の課題であり、解消するための一案を提起し、各級議員への働きかけをしてみたい」との意見が出され承認されました。3月17日、逢坂議員との意見交換会時に、要請書を提出

2月18日、函館市ホテル万惣にて道南医療第18回定期総会が行われました。冒頭、渡部議長が地域医療を守るためには、新たな財源が必要だ。それには声を上げていかなければならない。とあいさつし、来賓の逢坂誠二衆議は、「今回の診療報酬改定では、地域の小病院へメリハリつけさせて頂いた」と話しました。特別幹事の高橋道議からは、「地域によっては医師が偏在している。医師不足に

事務交渉では執行部複数名以上での対応すること。理論対理論で対峙していくことが大切。交渉の最終局面では休憩を取りながら、すりあわせをしていくこと。交渉の経過や結果については組合員へ職場集会や、オムニバス、教宣紙などを活用し、周知することが大切。交渉結果は必ず確認すること(団交の記録書は残す)など、団体交渉のいろはについて、わかりやすく



女性推進協議会幹事会
 5月の女性セミナーは「女性が担う労働組合」など



2月21日、北斗市かなでーるで、第2回女性推進協議会幹事会を行いました。

経過報告からはじめ、5月19日に開催予定の、女性セミナーについて意見を出し合い、一定の方向性が見えてきました

講演は、「女性が担う労働組合」「私と労働組合」と題して2講演。またズンバも行います。教宣紙は4月上旬にセミナーの発文時にあわせて発行を行うことを皆で確認しました。

来夏の参院選自治労組織内候補予定者

『あいはらくみこ』さんを推薦決定



自治労渡島地方本部では、

来年夏の参議院議員候補予定者『あいはらくみこ』さんを推薦決定しました。各単組・総支部でも、機関会議で推薦決定と、組合員への周知をお願いします。